



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2017年 5月24日 No.175

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

ちょうしゅうはん えどじだい やまぐちけん ざいせい ささ みたじりえんでん
長州藩 (江戸時代の山口県) の財政を支えた三田尻塩田

でまえじゅぎょう おとす ほうふしりつなかのせきしょうがっこう ちか みたじりちく えどじだい はぎおうかん しゅうちやくち
出前授業で訪れた防府市立中関小学校から近い三田尻地区は、江戸時代には**萩往還**の終着地であり、塩をつくる**塩田**でも栄えた場所でした。**萩往還**とは、萩城下から三田尻を結ぶ街道で、参勤交代の藩主も通った道です。また、三田尻の製塩は赤穂(兵庫県赤穂市)にならび一大中心地でした。今回は、塩田で栄えたこの地域を記念して創設された「**防府市三田尻塩田記念産業公園**」を訪ねました。



塩のつくり方が分かる管理棟



砂がまかれている塩田



三田尻塩田記念産業公園

えどじだい ちょうしゅうはん おも さんぎょう ほうちょうさんぱく こめ かみ しお しろいろ
江戸時代の長州藩の主な産業は、**防長三白**といい「**米、紙と塩**(どれも白色)」でした。その中でも、塩は高い値段で取り引きされたそうです。三田尻の塩は、北陸、東北から北海道に向けて**北前船**で積み出されました。取り引き先では**塩のことを「ミタジリ」と**呼ぶところもあったそうです。ここで得た利益が、幕末の長州藩の財源にもなりました。



製塩の様子を再現しています



濃くなった塩水を煮詰める釜



釜から出た煙を出す煙突

みたじり せいえんぼう しお み ひ りょう かいすい はこ す いりはましき
三田尻の製塩法は、潮の満ち引きを利用することで、**海水を運ばなくても済む入浜式**といわれる方法です。くわしい製法は、**塩田記念産業公園**で調べてみましょう。

三田尻塩田記念産業公園：電話 (0835) 25-3510

やまぐちはくぶつかん ばくまつ めいじ さまざま しりょう み
山口博物館では、幕末から明治にかけての様々な資料が見られます。ぜひ、お越しください。